

くにたち原爆体験伝承者による伝承講話の開始について

平成 28 年 3 月
国立市役所市長室

1. 「くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクト」第 1 期生がデビュー

原爆体験者の高齢化に鑑み、体験を風化させないために平成 27 年 1 月から開始した本件プロジェクト第 1 期が 3 月に修了します。体験者からの聞き取りのほか、話法技術の習得や語りの練習など 15 か月にわたる研修課程を了した国立市内外の 19 名が、「くにたち原爆体験伝承者」として、4 月以降、伝承活動を開始します。市内公共施設などで講話を行う他、自治体等からのご要望に応じ、伝承者を派遣しますので、平和事業等にぜひご活用ください。

2. 伝承講話について～継承した体験と思いをそれぞれの言葉と表現で伝承します

伝承者は、「くにたち桜会」の会長・桂 茂之氏（85 歳 長崎で被爆）、副会長・平田忠道氏（85 歳 広島で被爆）から聞き取った体験と平和への思いについて、「真実を曲げない」、「捏造しない」ことを原則としながら、各自の感性で咀嚼し、それぞれの言葉と表現で伝承します。体験者と真摯に向き合い、使命感をもってその魂を受け継いだ伝承者による語りは、誰が聞いても理解できる言葉づかい、用語説明などの工夫が凝らされています。

(1) 伝承者について

- ① 桂氏の体験（長崎）の伝承者：計 9 名（女性 8 名、男性 1 名 年齢 20 代～60 代）

＜桂氏の体験概要＞

長崎市出身。中学 3 年生のとき、勤労働員の作業中、長崎駅近くの西中町教会横で被爆。様々な偶然が重なって奇跡的に一命をとりとめ、爆心地である浦上地区を経て、市内から 20km 以上離れた北部の疎開先にたどり着く。2 週間後に市内に戻って目にしたのは、人馬の遺体が散乱する変わり果てた光景だった。

- ② 平田氏の体験（広島）の伝承者：計 10 名（女性 7 名、男性 3 名 年齢 20 代～70 代）

＜平田氏の体験概要＞

東京都出身。東京大空襲を経て、お父様が転勤していた広島へご家族とともに転居。中学 3 年生のとき、勤労働員の作業中に北部の可部で被爆。地獄図の市内に戻り、焼け野原となった自宅跡にたどり着くが、お母様と 4 歳のお弟さんが消息不明となっていた。約 1 か月にわたり母と弟を探し求めるが、再会は叶わなかった。

(2) 開始時期

平成 28 年 4 月下旬から

(3) 講話時間

約 35 分

(4) 謝礼金

2 千円（伝承者に直接お支払ください。遠方の場合は、旅費が必要になることがあります。）

(5) 問合せ・申込み先

国立市役所市長室男女平等・人権・平和担当

電話：042-576-2111（内線 256） メール：sec_shichoshitsu@city.kunitachi.tokyo.jp

〒186-8501 東京都国立市富士見台 2-47-1

（了）